



YCAM

山口情報芸術センター (Yamaguchi Center for Arts and Media) 通称「YCAM (ワイカム)」は、山口県山口市にあるアートセンターです。展示空間のほか、映画館、図書館、ワークショップ・スペースなどを併設しています。

2003年11月1日の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に活動しており、展覧会や公演、映画上映、子ども向けのワークショップなど、多彩なイベントを開催しています。

YCAM performance lounge

YCAMが2007年から定期的に開催している公演シリーズです。パフォーマンス作品を鑑賞した経験がない、そもそもYCAMのイベントに参加したことがないという方々に向けて、現在生まれつつある新しい身体表現の魅力をお届けしています。今回の開催が9年ぶり、7回目の開催となります。

搬入

品物などを運び込むこと (Wiktionaryから引用) ここでの「品物など」は中央公園に用意された物体のことを指します。この物体はYCAM1階のホワイエに搬入可能であることが理論的に証明されており、今回は人力でそれを運び込みます。

www.ycam.jp
information@ycam.jp

Carry-in-Project

The Carry-in-Project is a dramatic project proposed by the Akumanoshirushi performance group. This is one of their standout productions: a play of sorts in which a huge object, designed to only just fit inside the venue building, is carried into the building through human effort alone. For this first showing in Yamaguchi, a workshop will be held in

advance to design candidate objects, and the object to actually be used will be selected from among the participants' designs. The huge object produced as a result of this process will then be carried from Yamaguchi City Central Park (Chuo Park) into the foyer at the ground floor of the building.

Carry-in-Project in Yamaguchi Nakazono-cho

山口市中央公園

YCAMに隣接する公園です。この公園の中央部、スターバックス山口市中央公園店の斜め前付近に、搬入する物体が設置されています。その付近が集合場所であると同時にスタート地点であり、そこからYCAM1階のホワイエまで搬入する予定です。

7月中旬からは、搬入する物体の制作を現地でおこなっていますので、ぜひその様子もご覧になってください。

計画

「プロジェクト」の項目を参照ください。

山口市中央公園 集合

Venue: Yamaguchi City Central Park

山口

山口県のことであり、山口市のことでもあります。山口県は本州の最西端に位置しており、山口市はその中央部に位置しています。「山口」という地名の由来は、鉱山の入口のあたりだった、あるいは旧・長門国(山口県北部)に向かう山道の入口のあたりだったという「山の入口」説が有力視されています。

プロジェクト

何らかの目的の達成を目指して、一定期間に行われる一回性の活動 (Wiktionaryから引用)

ここでの「目的」は、YCAM1階のホワイエにギリギリ入る物体を、実際にそこまで搬入することを指します。2019年1月から、この目的を実現するために調査や実験を繰り返してきました。

Yamaguchi Center for Arts and Media (YCAM)
7-7 Nakazono-cho, Yamaguchi, JAPAN

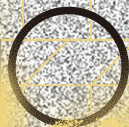
2021.7.24 sat

本イベントの開催前々日の7月22日が海の日、そして前日の7月23日がスポーツの日(東京オリンピック開会式)で休日となっているため、25日までの4連休となっております。大型連休のレジャーに本イベントはいかがでしょうか?なお、本イベントは雨天決行ですが、台風などの荒天の場合は順延する可能性があります。また当日は混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。

17時START

作品の特性上、終演時間は未定となっております。搬入をおこなう人員のスキルや搬入当日の天候などによって作業時間に大きく差が出るためです。中央公園からゴール地点となるYCAM1階のホワイエまで搬入することができたら、その瞬間に終了となります。時間にゆとりを持ってご来場ください。

2021.7.24 sat



17:00 START

巨大物体をYCAMに搬入せよ!

2 彼らの代表的な作品のひとつ

建物に「かろうじて入る」ということは、普通には入らないということを含みます。搬入プロジェクトの実施に際しては必然的に生み出される特殊で不安定な状態を前に、運び手や鑑賞者の間に混乱や緊張感が生まれ、それが一体感に繋がります。搬入に成功すると不思議と達成感に包まれます。

建築空間と巨大な物体との間に人間の営みが介在することで、人間の感情の動きが生み出されていく。そのプロセスを「演劇」と捉えた本作は、どのような場所でも実施でき、また実施する場所や周辺環境によってパフォーマンスの内容が大きく変わっていく柔軟な作品として注目を集め、これまでに国内外の20箇所以上で実施されています。

4 日本各地で繰り返す

YCAMでの搬入プロジェクトの実施に向けて、京都、東京、山口などで実験的に搬入プロジェクトを実施しています。こうした実験を通じて、搬入プロジェクトのルールやマナー、技法などを第三者の立場で可能な範囲で抽出し、それらを体系化した資料の作成を目指しています。この資料は、関連イベント「搬入プロジェクト 山口・中園町計画ドキュメント」の展示物のひとつとして、展示されます。

6 熟議を重ねて

「搬入物体設計ワークショップ」の終了後には6名の有識者を招聘して「搬入物体選定コンペティション」を開催しました。10時間に及ぶ厳正な審査の結果、113個の物体案から「マワリカマクビ」(作:安東星郎)が選出。今回のイベントでは、この案を実際に制作し、搬入します。この当時の審査の様子はオンラインで公開されています。www.ycam.jp

主催
公益財団法人山口市文化振興財団
後援
山口市、山口市教育委員会
助成
文化庁 文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
協力
悪魔のしるし
共同開発
YCAM InterLab
企画制作
山口情報芸術センター [YCAM]
[問い合わせ先]
山口情報芸術センター [YCAM]
〒753-0075
山口県山口市中園町7-7
083-901-2222
www.ycam.jp
information@ycam.jp

「搬入プロジェクト」とは、パフォーマンス集団・悪魔のしるし¹が発案した演劇プロジェクトです。会場となる建物内にかろうじて入る大きさ・形状に設計された巨大な物体を、人力で館内に搬入する様子を一種の「演劇」として提示するという彼らの代表的な作品のひとつとして知られています。現在ではパブリックドメイン化³し、誰でも自由に改変および実施できる作品となっており、今回の「搬入プロジェクト 山口・中園町計画」は、YCAMが主体的にアレンジをおこない、実施するものです。

実施に先駆けて、日本各地で搬入プロジェクトを繰り返す⁴とともに、YCAMに搬入する物体を多くの人々と設計⁵し、熟議を重ねて⁶きました。

コロナ禍による1年の延期⁷を経て、いよいよ制作した巨大な物体を中央公園から館内1階のホワイエへと搬入⁸する日が訪れます。予め設計された奇跡と感動をぜひお楽しみください。観覧は無料⁹です。

写真:多摩美術大学での実験の様子(2020年1月/撮影:竹久直樹)

1 悪魔のしるし

演出家の危口統之(1975年生~2017年没)が、2008年に結成。演劇的な舞台作品と、あるルールに則った即興要素のあるパフォーマンスなど、様々な作品を上演。舞台作品としては「搬入プロジェクト」が初演以来、国内外でも評価を受け、2016年までに8カ国20箇所での公演を重ねてきました。危口没後の現在は、建築家の石川卓磨や、デザイナーの宮村ヤスオ、企画・プロデュースの金森森らを中心に、危口の作品アーカイビング活動を展開するほか、演出家の意志を継ぐ形で2019年に「搬入プロジェクト」のオープン化を宣言しました。

3 パブリックドメイン化

搬入プロジェクトは、悪魔のしるしの主宰者を務めた危口統之が2017年に死去した後、著作権の放棄が宣言され、パブリックドメインに移行しました。これにより誰でも自由に改変して実施できる作品になり、新たな展開を見せ始めています。今回のYCAMでの実施もそうした展開のひとつです。

5 多くの人々と設計

2020年4月から6月にかけて、YCAMの1/20の模型を駆使しながらYCAMにかろうじて搬入できる物体を設計するイベント「搬入物体設計ワークショップ」を開催しました。このイベントを通じて、のべ100人を超える参加者が合計113個の物体案を設計。その全てはオンラインで公開されています。www.ycam.jp

7 コロナ禍による1年の延期

本来であれば、このイベントは2020年7月25日に開催する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うさまざまな要因から開催を延期することになりました。1年越しの実施となる今回は、感染症対策の専門家の助言も仰ぎ、感染症対策を考慮しながら開催します。

8 ホワイエへと搬入

本イベントは、巨大な物体を中央公園からYCAM1階のホワイエに搬入するだけのイベントです。搬入後は、そのままホワイエに物体が残ります。関連イベント「搬入プロジェクト 山口・中園町計画ドキュメント」の展示物のひとつとして、展示されます。

9 観覧は無料です

搬入の様子を見届けることも本作においては、重要な参加の一形態です。声援を送る、野次を飛ばす、ただ見守るなど、感染症対策に留意しながら思い思いの鑑賞方法をお楽しみください。

関連イベント

搬入プロジェクト 山口・中園町計画ドキュメント

7月25日(日)~8月15日(日) 10:00~19:00 火曜休館

山口情報芸術センター[YCAM]ホワイエ 入場無料

「搬入プロジェクト 山口・中園町計画」で、ホワイエに搬入された物体を展示するとともに、搬入に先立っておこなってきた、数々の実験の成果を紹介する資料展示です。会期中にはギャラリーツアーも開催します。

搬入プロジェクト 山口・中園町計画

バックステージツアー

7月16日(金) 19:00~21:00 インターネット 視聴無料

(URLはイベント開催当日にウェブサイトで発表します)

「搬入プロジェクト 山口・中園町計画」の舞台裏に迫るオンラインイベントです。

※そのほか関連上映を予定しています。詳細はウェブサイトならびに上映スケジュールをご確認ください



2021年7月24日(土) 17:00 スタート / 集場所 山口市中央公園 / 観覧無料